



発行日 平成22年 5月19日(水)
発行 社会福祉法人 訪問の家
サポートセンター 径 広報担当

TEL 045-897-1101

FAX 045-897-1119

<http://www.houmon-no-ie.or.jp>

第31号

この街で



径に通い始めて1年。
竹を割る姿もさまになってる飯野園子さん

—目次—

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| P.1 日中活動の一場面より | P.2 功の一日 |
| P.3 MY SWEETHOME/小祝ウォーカー | P.4 名里新理事長より |
| P.5 径の新人スタッフ紹介 | P.6 にんにくの視点 |
| P.7 のぞいてみよう 径のWEEKEND/私の宝箱 | P.8 信田貴史の四コママンガ・お知らせ・編集後記 |

いさお 功の一日

徑に通所し始めて9年目の長谷川功さん。普段はクルー班の仲間たち4人で公田にある特別養護老人ホームでシーツ交換の作業を行っていますが、今年度から毎週金曜日にパン作りを始めました。今回は、そんな長谷川さんの1日に密着しました。



午前10時 パン工房に入ります。今日作るのはマドレーヌです。おや、長谷川さん！めずらしくはりきっていますね！？何か良い事でもあるんですか？

昼休み、食事が終わった長谷川さんは、午前中作ったマドレーヌを持ってどこかへ・・・

行き先は隣の朋にいる、長谷川さんと仲の良い安達裕美さんの所でした。あのマドレーヌは裕美さんへのプレゼントだったのです。



長谷川さんが昼休みに朋に来てくれるようになり、8年はたつでしょうか。始めは安達さんと一緒に座ることがぎこちなかったのですが、今では

とても上手に一緒に座ってくれます。安達さんも長谷川さんが来ると途端に笑顔になり、その笑顔に照れくさそうにしている姿が、その場を暖かい雰囲気してくれます。貴重な昼休みの時間に来て下さる長谷川さん。明日も来てくれるかな・・・

(朋 吉田佳代子)



午後、「長谷川さんおかえり」と言った職員の目は笑っていません。納品予定のマドレーヌが1つ足りないで大騒ぎ！もしかして、あのマドレーヌは・・・あちゃ～！！ま、いっか！！

帰る前、長谷川さんはボランティアの渡辺さんと一緒に育てた花に水をあげます。渡辺さんから「お水をあげすぎないようにね」と言われていますが、そんなことはおかまいなし！たとえ翌日に雨予報が出ていても、た～っぷり水をあげます！それが「The 功流！」



長谷川さんは渡辺さんのことを親しみをこめて「先生」と呼んで慕っています！



帰り際に長谷川さんと少し話をしました。

長谷川さんが作ったパンが完売してしまいましたね。これから毎日パンを作りますか？
—いや、クロスハートも続けますわ。クロスもパンも両方やっていくつもりです。
これからもよろしくお願いしますね！そういえば、安達さんにパンを持って行く時は・・・
—ちゃんとお金払ってるじゃないですか。でもクルー班にはあげないよ。
???

—男ばかりだからね (笑)

日中活動支援 立花秀彦



MY SWEETHOME

女性は常に綺麗でいたいですよね!ケアホーム「コム」の入居者でもある本田日出子さんも「美」を大切にしている女性の一人です。

月に1度は、ヘアカットにホーム近くの美容院「arco iris」さんへ通っています。天気の良い日には散歩がてら美容院まで♪気分は最高です。

いつも予約をとる電話で「本田です」と伝えると「日出子さんですね!」と、名前も覚えていただく程すっかり常連さん。

そんな本田さんもはじめの頃は、いざ髪をカットされると首を横に振ってなかなか美容師さんとの息も合いませんでした。しかしヘアカットが終わると優しく素敵なお男性スタッフが「キレイですよ☆」と優しい一言!

回を重ね、いつの間にか写真のような心地よい顔に♪どんな時も優しい声を掛けてくれる美容師さんの対応が、本田さんにとって徐々にヘアカットの時間が癒しの時間に変わってきたのかもしれないね。

そんな素敵なお出合いが、日々ケアホームに住んでいる方々の「美」に繋がっているのだと思います。これからも「美」を保つため、そして新しい素敵なお出合いを求めてメンバーさんとともに地域を散策したいと思います♪

ケアホームスタッフ 室端暖香



初めまして。今年度よりケアホーム「ふぉーびーす」で働かせて頂いている横原です。大好きな地元の広島を離れて神奈川へやって来ました☆新しい環境にも恵まれ、元気よく頑張っていきたいと思っております!分からないことばかりで、ご迷惑をお掛けすると思っておりますが、どうぞ宜しくお願いします!!

横原えり

小祝ウォーカー 第4号 Koiwai Walker

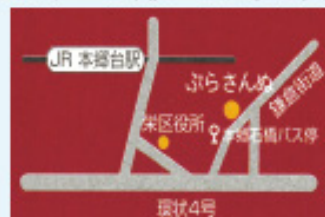
小祝編集長が自らの足で取材しホットな街の話題を紹介する『小祝ウォーカー』今回はご近所、栄区鍛冶ヶ谷の「パンとカレーの喫茶店 ふらさんぬ」を紹介します。



明るい店内にはイートインスペースもあり、取材時にも女性のお客さんがグループで食事をされていました。おすすめは材料にこだわった手造りの『カレーパン』コンガリ揚げたカリカリの皮とスパイシーなルーが絶品です!!「明るく・楽しく」をモットーに働いている店員さんの雰囲気も素敵なお店でした。

営業時間 月～金 10:00～17:00
大募集

小祝ウォーカーで紹介して欲しい場所、人物、イベントなど大募集します。小祝編集長がどこでも取材に行きます!サポートセンターの勝俣までご連絡下さい。



編集 小祝貴史・勝俣篤志



笑顔に囲まれて

理事長 名里晴美

6年前まで訪問の家の職員ではあったものの、径を利用される皆さんとは、「はじめまして」の方がたくさんいらっしゃいます。4月から、径の建物に度々出入りするようになりました。ここに入ると、いつでも笑顔がいっぱいで、元気に、やさしくあいさつされ、私は、いつもうれしくなるのです。

法人・訪問の家の最初の事業所であり、私が長く勤務していた朋では、重い障害のあるメンバーが、たくさんの方と、直接関わり合わせていただきました。障害者施設は、特定の人のための、特別のものではない、地域の皆さん、ボランティアさんや小中学生や、何かのイベントを見に来られた方にとっても、“生命”や“人間”について、何かを感じてもらえる場所であるはず、そう思ってきました。

朋の開所から13年後、平成11年に、サポートセンター径、桂台ケアプラザができました。そしてそれから11年……。ここは、本当に特別な場所ではないなあと思います。いろいろな人が、いろいろな用事でこの場所を訪れます。どの人にとっても、ここは自分のフィールドなんだ、大切な自分の居場所の一つなんだ、きっと……。もちろん、笑顔の奥に、心配事や、悲しみや、悔しい思いや、心身の不調などを抱えていることもあるでしょう。それもひっくるめて、ヨシ！また頑張るぞ！と思える、そんな場所があるって、ステキなことだと思います。

この4月から、訪問の家の理事長という大役を担うことになりました。日浦前理事長の後任という重責であります。未熟なところ、行き届かないところが多々あるかと思いません。でも、たくさんの笑顔に囲まれ、私も、「ここが私の居場所」と思える幸せをかみしめているところです。ここで、志を一つにする職員たちと共に、進んでいこうと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。

略歴

- 昭和59年 法政大学社会学部卒業
- 同年 障害者地域作業所「朋」
- 昭和61年 社会福祉法人 訪問の家 知的障害者更生施設
「朋」支援スタッフ
- 平成12年 「朋」施設長
- 平成16年 「朋」退職
- 同年 社会福祉法人 十愛療育会横浜療育医療センター
地域サービス課長
- 平成18年 同 生活支援部長
- 平成22年 社会福祉法人 訪問の家 理事長



★ 新人紹介 ★

今年度、径には5名の新人職員が入りました。今回は、そんな5名の素顔をみなさんに知っていただこうと思います。編集部がいくつかの質問をしました。さて、新人諸君はそれに対してどんな答えを出したのでしょうか！みなさんも一緒にお考えください。

ちなみに、全問正解者が出て豪華賞品は一切ございません。

さかくちとしたか
坂口季陵

生活支援事業
1987年11月20日生
広島国際大学卒業



さわまりな
澤麻理奈

日中活動支援事業
1987年8月15日生
東京農業大学卒業



つかもとしげき
塚本茂材

日中活動支援事業
1987年11月4日生
田園調布学園大学卒業



たさかみゆき
田坂美友貴

相談支援事業
1987年11月3日生
松山大学卒業



やのゆりえ
矢野友里恵

日中活動支援事業
1987年7月25日生
上智大学卒業



Q1 あなたはおそば屋さんでザルそばを頼みました。ふと見るとおそばの中から1本うどんがっ!!?あなたはど
う思いますか?そしてそのうどんをどうしますか?

A1 (あれ、うどんだ。ちゃんとザル洗えよなー。前のが残ってるじゃん。)とか思いながら結局(ま、いっか。なんか当たりくじみたいで面白いし。あーなんかうどん食べたくなってきたなあ。)とか思考が横道に逸れていくかと思われます。

A2 今日一日コシのある人間でいられそうでテンション↑↑大切にしておいて、最後には一口ではなく二口で

Q2 あなたは無人島に異性と2人きりで取り残されてしまいました。あなたが相手にかける最初の一言は?

A3 イケメン→「二人で」「協力して」を強調してなるべく一緒に行動できるような計画を立てる。そうでもない人→個々にやるべき計画を立てて、「じゃあ頑張ってるね」って言って必要最低限の関わりで済ませます。

A4 とりあえず効率的な海水のろ過の仕方を考えよう

Q3 あなたは就職して間もない職場に遅刻してしまいました。そんなとき、あなたは上司に何と報告しますか?

A5 「夢の中で上司さんに今日は遅出だからと言われたんです。すみません」

今年度、径は2名のスタッフがケアホームへ異動し5名のフレッシュマンが加わったので差引、スタッフ3名増とパワーアップしました。さてさてこの5名の新人たちの数年後はどうなっているのでしょうか?今のモチベーションは↓か↑か、現場の中での実感を積み重ね頼もしくなっているか、はたまた…!彼らの成長はもちろん私たち事業所の責任でもありますがそれだけでは成し得ません。5人共に、「障害のある方と関わる仕事がしたい!」とこの仕事を選び、集まってきた人たちです。時に厳しくもどうぞ温かく見守り育てていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

所長 金子恵子

にんにくの視点^め

径の相談に関わらせて頂くようになって10年以上になり、自分でも愕然としています。その間、いろんな経験をさせていただきましたが、ご家族の頑張りには頭が下がります。例えば…

在宅での抗がん剤治療に苦しみながら、「障害のあるわが子の介護をするために早く治りたい」と超人的な頑張りを見せておられるIさんのお母さん。相談支援としては、お母さんに入院していただき、30歳を越え医療ケアの必要なIさんには入所をお勧めする方がよいのかもしれませんが、「Iさんと一緒に暮らしたい。その生活ができる限り続けたい。」と強く思われるお父さん、お母さんを前にすると、そんな無茶なという思いはありながら、「でもそういう生活もあるのかも…もしかしてその方がIさん一家らしいのかも…」と揺れてしまいます。

「ワタクシ、あと20年頑張ります」といわれたMさん(50歳)のお母さん。20年後には100歳です。「親が100歳まで頑張るのは、本人にとってどうなのか??」なんという通り一遍の考えは、そのエネルギーの前にふっとんでしまいます。

(私なんて60歳を過ぎただけで、もう年寄り気分です。引退する時期を考えているというのに…。60歳なんてまだこれからよ!と笑われてしまいそうです。)

Mさんのお母さんは、あの子がいるからまだまだ…と食べ物にも気をつけていらして、嬰饒(かくしゃく)とはこういう方をいうのかと感服してしまいます。Mさんは立派な体格をされていますが、「お母さんが亡くなるかもしれない」と想像しただけで体調を崩してしまわれる程、お母さんを心の支えとしています。そうは言っても、ご家族やご本人とお会いしながら、ここ数年、ゆっくりと、でも着実にMさんはグループホームの体験などを進めています。お母さんが100歳になられる前に自立されるかもしれません。そうであって欲しいです。本当に…。

一般的には、障害のあるご本人の生活を見届けるためにも、親御さんがお元気なうちに、自立されることをお勧めしているのです。しかし、その都度、「こういう人生もある」「人それぞれ」と教えられ、改めて人の生き方には傍がとやかく言えないことも多い、という事を痛感しています。

かくして、迷いながらも、いろんな事を皆さんに教えられ、日々の糧としながら、過ごしている相談室なのでした。





のぞいてみよう!

怪のWEEKEND~♪



アリの穴もいらないぞ!!!



中に入ってみると

普段、径やケアプラザの利用者さんや地域の方でにぎわう径の建物ですが、径の通所がない土曜日。その一角でひっそりと、いや、思いっきり何かを楽しんでいる人たちがいました。

何だろう~!?

今回はあまり詳しく知られていない?『土曜デイサービス』の実態!?をご紹介します。

では4週目のプログラム『手工芸』を覗いてみましょう。そこでは陶芸の講師の原さんを招いて焼き物を作ったり、季節に合わせた創作を行っています。一人で作品作りに没頭する人、腕を支えてもらいながら真剣に作業する人、スタッフに言葉で作りたい作品のイメージを伝え、不器用

な!? スタッフの失敗にも笑って盛り上がる人... 個々の活動でありながら、個性が重なりあい和やかで一体感のある空気が溢れています。



『土曜デイサービス』は、土曜の休日にエアロビクス、クッキング、音楽と週替わりのメニューでみんなが一緒になって楽しむ余暇支援プログラムでした。

日中活動支援 三橋清之



私の宝箱

最近ハマっている歌は、金子みすずさんの詩にメロディーをつけた「みんなちがって、みんないい」。そして、それを教えてもらったのが「びっころ」です。

青空、鳥、緑の横浜線が見える相談室の広い部屋で、こども達が声と気持ちを合わせて歌います。「わたしが両手を広げても、お空はちっとも飛べないが、飛べる小鳥は私のように地面を速くは走れない・・・鈴と小鳥とそれからわたし。みんな違ってみんないい。」一緒に歌っている私たち。声も違い、気持ちも違う。だから面白くて、だから一緒になる喜びがあります。私の話し方、考え方もみんなと違うけれど、「びっころ」の友達はいつもありのままの私と一緒にです。歌の中で「生きている」存在感を改めて感じます。

※「びっころ」は、さまざまな個性があるこども達が集まる放課後の居場所です

許 銀 鏡

新連載



この度『パン工房ゆめ』の大切なお客様であり、色々な場面でいつも径を応援して下さい。さくらラウンジさんに設置されている募金箱よりご寄付をいただき、パンのスライサーを導入いたしました。これで『パンを切って売って欲しい』というお客様の声にも答えられそうです。『パン工房ゆめ』はこれからもおいしいパンを焼き続けます。株式会社さくら住宅さん本当にありがとうございます。



5ページ新人紹介 こたえ

塚本  A2

坂口  A5

田坂  A4

澤  A1

矢野  A3

・・・ごしゅ!

法人本部からのお知らせ

当法人への寄附金は、ご寄附をいただいた方の「所得税(国税)」の所得控除及び「横浜市の個人市民税」「神奈川県個人県民税」の寄附金税額控除の対象になります。
(但し、¥5,000を超えた額が控除対象です。・寄附額¥5,001以上)
ご不明な点は、訪問の家 本部事務局(045-894-4640)へお問い合わせ下さい。

編集担当からのお願い

いつも『この街で』を読んでいただきありがとうございます。これからも地域の皆様が読みやすい、興味を持って読んでいただけるよう努力して行きます。つきましては、皆さまからのご意見・ご感想をお聞かせくだされば幸いです。電話・ファックス・メール等なんでもかまいません。下記宛先までお知らせください。ご協力よろしくお願い致します。



この広報誌は再生紙を使用しています。

発行: 社会福祉法人訪問の家 サポートセンター径
247-0034 横浜市栄区桂台中4-5 045-897-1101 FAX897-1119
mail: michimichi@houmon-no-ie.or.jp
広報係担当: 庄司晃洋・大森清香・清水香織・矢野友里恵・立花秀彦